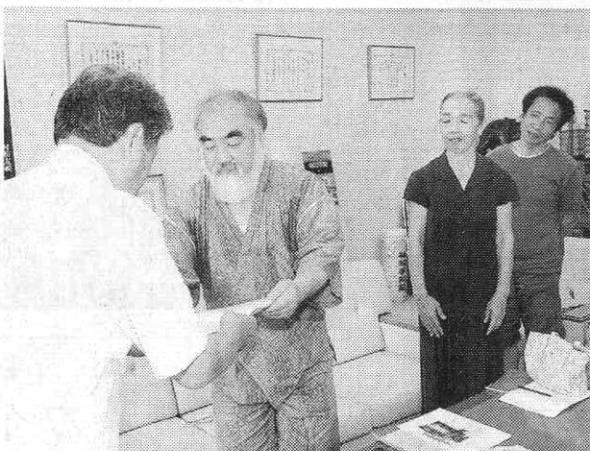


# 婆娑羅峠に風力発電計画

## 松崎町長に「健康・自然に影響」 反対陳情



風力発電事業への反対を深沢町長へ  
陳情する福田代表＝松崎町役場で

下田市と松崎町の住民一人は二十五日、同町役  
グループ「婆娑羅（バサラ）」岐南風力発電問題か  
ら健康と自然を守る会（福田勝士代表、約七十一  
歳付近の山間地で計画さ  
れている風力発電事業に

反対する陳情書を提出し  
た。同会は六月、下田市に  
も同様に陳情している。

守る会によると、風力  
発電事業は長崎県に本社  
がある風力発電会社が計  
画。下田市加増野から松

崎町小杉原の稜線（りょ  
うせん）に、出力一千キ  
ロワットの発電用風車十五基を  
建設する。風車の直径は八十二メー  
トル、最高到達点百三十一  
メートル。年間予想発電量約八  
千九百万キロワットで、一万二  
千世帯の電力使用量に相  
当。工事の着工は来年四  
月、稼働は平成二十三年  
三月の予定という。

同町役場の陳情には福  
田代表、事務局の寺田繁

とも指摘している。  
深沢町長は陳情を受け  
て、「業者の」土地利用申請  
が出ていない段階だが、  
もし申請が出て、町民の  
健康被害の恐れがあると  
すれば、町独自の調査を  
しなければならない。風  
力発電については東伊豆  
町にまで以来『慎重に  
様子を見てから』といっ  
ての不安や自然環境破  
壊への懸念を述べている  
ほか、松崎町小杉原と下  
田市加増野の一部民家の  
至近距離に風車が建設さ  
れる計画となつていてこ  
れからでは手遅れになる。

日本基準は三百㍍で現  
実離れしている。この計  
画では、小杉原の全世帯  
が千六百戸の範囲に入っ  
てしまつなどと訴えた。

伊豆新聞  
2008.7.26